

今回の第 29 巻 5 号には、原著 3 編と症例報告 5 編を掲載させていただきました。ヘルニアに関する論文が 3 編（原著 1 編・症例報告 2 編）、AI 関連の原著が 1 編、腹腔鏡とロボット手術の比較の原著が 1 編、手術孔の工夫の症例報告が 1 編、妊娠中の工夫の症例報告が 1 編、ICG 使用に関する症例報告が 1 編でした。ヘルニアに対する論文投稿は多いですが、まだまだ工夫や適応に関しての検討があることを再確認できました。術中の ICG 使用は様々な分野で行われていますが、カメラ精度の向上などもあり今後も広範囲の領域の場面で使用されていくかと思われます。AI を手術記録の自動化と結びつけて検討された論文は目新しく思われました。今後も多方面での AI を併用した内視鏡手術の投稿が増えていくと思われます。ロボット手術と内視鏡手術との比較の論文は多いですが、今回の論文では直腸がん術後の復職状況を中心に考察されていました。われわれ呼吸器外科領域でも、2024 年 6 月より肺悪性腫瘍以外（炎症性疾患や良性腫瘍など）の肺葉切除と区域切除のロボット手術が保険適応となりました。また、他領域同様に 2024 年よりロボット手術での胸腔鏡安全技術認定制度への申請が可能となりました。今まで以上に呼吸器外科領域の内視鏡手術に関する論文の投稿をお待ちしております。

世の中では、MLB オールスターで大谷選手がホームランを打ち、そのアメリカでは大統領選前に銃撃事件が起こり、日本通貨の円安が続き、コロナ流行（KP.3）もいまだ完全に終息せず、そんな中 2024 年 7 月 26 日よりパリオリンピックが開催される予定（掲載時には終わっておりますが）です。日本をはじめとした各国の選手がきっと活躍してくれることでしょう。世の中で様々なことが起きている中で、日々平穏な日常生活を過ごせることに感謝しつつ、今後も日本内視鏡外科学会がさらに発展していくように能城編集主幹の下で編集委員の一人として貢献できるよう努めていく所存です。

(藤森 賢)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 29 巻 第 5 号) 2024 年 9 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 価格：3,080 円（本体 2,800 円＋税 10%）

2024 年 年間購読料：18,018 円（税込）＊学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会（理事長：北川雄光）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp（担当：芝）

<http://www.jses.or.jp>

発 売：(株)医学書院（代表：金原 俊）（本誌担当：水野，小路）

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23（振替口座 00170-9-96693 番）

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売・PR 部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 260F2600029005000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。